

第5回日進市一般廃棄物処理基本計画策定委員会

日 時 令和3年10月11日（月） 午後1時30分から
 場 所 日進市役所 南庁舎2階 第5会議室
 出席者 10名
 欠席者 1名
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有 3名
 次 第 1 あいさつ
 2 議題
 目標項目、目標値及び施策について
 パブリックコメント資料（案）について

発 言 者	内 容
	1 あいさつ
事 務 局	あいさつ (資料の確認)
事 務 局	委員会の委員定数11名のうち10名の出席で、成立することを報告する。また、会議は公開となっています。
会 長	傍聴人はいますか。
事 務 局	3名います。
会 長	この委員会は公開となっていますので、入出を許可してもよろしいか。 それでは、議題に移ります。
	2 議題 目標項目、目標値及び施策について
事 務 局	(事務局説明 資料4まで)
会 長	説明に対して、ご意見等ありましたらお願いします。前回からの大きな変更点は、プラスチックの循環促進法が、来年の4月に新しく施行されることを受けて、プラスチックの完全な回収を掲げるということが入っている。それから、目標3のリサイクル率の向上があったが、燃えるごみに混入しているリサイクル可能のというのを、混入率の削減、評価可能なもの、実質的な内容に変更する。2つが大きな変更点です。目標数値については、説明があった通り、すぐに判断は難しいとは思いますが、方向性について、これでいいかということと、数値も大幅に変更があるので、ご意見をいただければと思います。理想値という言葉についても意見があればお願いします。限界値という意見もあり、最初の通り理想値の方がいいのではということで、今回はこのままとしています。理想値は何かということ、資料5の基本計画の中に説明を加えています。
副 会 長	確認ですが、資料1の目標③の理想値と目標値は、これは23.3%の削減でいいので

発 言 者	内 容
	すか。追記したほうが良いと思います。目標③では削減と言っているのですが、いつの時点から何を削減するのですか。組成調査の5年平均の数値が、5年平均の全体の何%、何グラム、そこから23.3%の削減が理想値とわかるようにしていかないと、議論しづらい。目標④はわかるが、元がR2の5000トンが基準だったと思います。
事 務 局	R2が基準値で、将来推計から出しています。
副 会 長	将来推計が空欄になっている。R8の将来推計に対してということですか。本当は数値がここに入ると思う。5千万何百トンから何百トン削減という考え方でいいのか。確認いただきたい。
会 長	将来推計値があって、そこから出したと思うが。
事 務 局	将来推計値として5521トン、その20%が事業系となっています。100%リサイクルすると、1104トンとなります。
副 会 長	5521トンがFのところに入っているでもいいのか。
会 長	そうです。ここが抜けている。
副 会 長	そのことがわかるようにしたほうが良い。目標③の23.3%の削減は、何に対してというのが、ここにあるのか。何に対してというのが必要なのではないかと。
事 務 局	22.3%は平成28年度からR3年度までの組成調査で、リサイクルできる品目、紙、布、プラスチックなど、5年間平均すると23.3%となっており、全部なくなれば、リサイクルできるものとなります。
副 会 長	目標②—2の将来推計がある。これについて23%減らせるという意味か。燃えるごみに入っている23.3%がリサイクルできるというのがある。基準となるのは、数値である。燃えるごみ量、23.3%のもとになる量をどこかに示したほうが良いのでは。議論ができないのではないかと。今の話でいくと448グラムに対して、23.3%減らせるという理解でいいか。
会 長	目標③の実績値のところ、何年から何年平均という言葉は足していけばいいのではないかと。平成28年度から令和2年度までの平均値と書いて、数値を書いておけばいいのではないかと。言葉を足して書いておけばいいのではないかと。
副 会 長	どのように書けばよいか。
会 長	目標の項目の名前は、本当は混入率である。理想値は0%で、目標は11.1%にする。
副 会 長	何の11.1%なのかがわかりにくい。それをどこかに書いてほしい。家庭ごみのごみ量のことであって、それを書いてもらおうとわかりやすい。
事 務 局	目標値のところ記載します。目標項目のところ、燃えるごみのリサイクル可能と書くかどうかです。
副 会 長	リサイクル可能品目混入率にして、現状23%ある。理想値が0%にする。そういう書き方がいいかもしれない。そうすると、将来推計値は混入率23%にしたといえる。理想値は0%、目標値はしんどいので、十数%にするということではないのか。パーセンテージでいくのであれば、そのような書き方の法がわかりやすいのではないかと。全体で何%にしないといけないのかがわかりやすいと思う。
会 長	これまでの目標になかった事業系を新設する。事業系は新たに加える。今まで協力

発 言 者	内 容
	してくださいと啓発だけであったが、数値として新しく加えた。来年度からは設定することとなっている。事業者は商工会議所に所属しているのは何件あるのか。
事 務 局	2000 弱位あります。
会 長	名古屋市が1万8千くらいなので、人口にすると、そのくらいになる。意見がなければ、これで決めてもいいか。
委 員	資料1の数値は、部会でいろいろ議論してきたが、次の資料5で一般の人が見る資料になると思うが、そこに、一般の人がごみを削減するにはどうしたらいいかと考えると、この目標値で言うと、23.35%の11%、目標③のところを見て市民の方がやるのがわかると思う。そうした時に、会長からあったように数値の出方がわかりにくいという話があって、一般の人も同じ考えを持つと思う。この数値は何の目標値なのかと思われても困るので、数値の出し方も、丁寧にどうすればいいかを書いたほうがいい。この資料は、ここだけの資料なので、そこまで細かくなくていいと思うが、下に細かく、算出の方法が書いてある。上の説明だけだと紐づけができないので、わかりやすく紐付けしてくれれば、わかりやすいのではと思う。
会 長	資料を見て、これから説明してもらおうが、資料5の20ページに書いてあるが、11.1%削減と書いてあって、どのようにするのかを、近くにあったほうが見やすい。
副 会 長	可燃ごみに含まれている混入されているリサイクルできるものを半分に減らす。それが12%ということ。そういう書き方をこの目標値にしたほうがいいのではないかと。ごはん半分の重さであるなどを書くということだと思う。資料1は直す必要はないが、資料5に反映されることが必要だと思う。
事 務 局	わかりやすく、身近に感じるようにします。
原 副 会 長	身近でなくても、想像ができるようにしてもらいたい。
事 務 局	考えてみます。
会 長	数値の大きな方向、数値の大きさも想像して、ちょっと頑張れば達成可能か、少し頑張れば達成できそうな値なのか、大事なことだと思う。提案の仕方としては、真剣に頑張ればここまで行くはずだが、現実はこのあたり、もう少し頑張れば減らしましょうという話だと思う。プラスチックについては、法律で定められるので、ペットボトル同様に100%リサイクルするので、それを前提に考えているが、当面5年間で達成したいということ。当初100%達成しないとイケないと言いましたが、実際、ペットボトルも100%、段ボールもほぼ100%に近いリサイクルされている。私たちには実績がある。それくらいは行けるはず。見ればわかるので、分けやすい。かさばるは嫌であるが、対象としては扱いやすい。100%だと思うが、少し時間はかかると思うので、5年間でこのくらいという記載をしている。皆さんの感覚で意見をいただければと思う。
委 員	自分の意識が、この会議の前と今で変わってきている。プラスチックの量が増えた。家族でもこっちに入れるように、各家庭で意識を持つだけで変わるとこのような数値になるのではないかと。意識を持つだけで変わるので、次の世代のために意識を変えないといけないことを広報・啓発をすることが大切である。
事 務 局	プラスチックの参考の話ですが、名古屋市が平成30年4月に、4000世帯対象にプ

発 言 者	内 容
	ラスチックの一括回収の実証実験を行いました。1つの袋で回収する実証をしたところ、プラスチックの回収量は15%増えたという結果がでています。
会 長	プラスチック全部回収か。
事 務 局	プラスチック製品も一緒に回収するとトータル15%増えました。15%分が回収量で仮定して、日進市に当てはめると、28年度からの5年間の平均は年間940トンとなるので、15%は141トン燃えるごみで出されていたものが、資源に出してもらえると推計します。先ほどの141トンという数値は、プラスチック製品の理想値とした1185トンの11%にあたる数値になります。名古屋市の実証実験を考えると、11%が資源に出してもらえるのではという参考の数値が出ています。
会 長	今まで、プラスチックも分けなければいけなかったが、わからない、面倒くさいという気持ちが強かった。これからプラスチックは全部分ける。わかりやすいので、行動が変わると期待している。名古屋市の実験を全量かはわからないが、すべてということでは、十分変わると思う。ペットボトルをごみで捨てる人はいない。コンビニのごみはわからないが、家庭の中で捨てることはないのではないか。
事 務 局	組成調査も0.08%です。
会 長	私は変わると思う。汚れたものを入れる人もいるかもしれないが、洗うように言えば、異いろんな意見があると思うが、そう言っていけばいいのではと思う。
委 員	自分たちが汚した分、自分たちが、少しでも戻すという感覚を持たないといけない。ビニール袋がいくらといわれると、紙袋がないのかと聞く。あるのであれば、店も紙袋だったら用意しているというその一言が必要。店の意識も直していただきたい。紙袋を用意することも親切なことだと思う。
会 長	意見を伺うと、パブコメのもとめること、5-1、5-2の書き方も、計画はこれというのはわかるが、こうしましょうと、訴えかけるような資料にすることが大事かもしれない。大事なのは、皆さんに訴えかけて、協力ではなく、みんなでよくしていくという考え方で訴えかける。今までは協力出会ったが、これからは一緒にやろう、そのほうがいいのかも。そのような雰囲気にもなっている。行政だけでは無理で限界がある。
事 務 局	そのような記述に直します。
会 長	他に意見はあるか。水切りの件については、山口委員の追加の実験があり、そのデータを入れて修正をした。有効なデータでそれを基にしている。改めて紹介してほしい。資料5の説明をお願いしたい。
事 務 局	(資料5の説明)
会 長	ご意見、質問ありましたら、お願いしたい。
委 員	生活排水のところ、令和8年度の目標値であるが、これも算出方法はどのようにやっているのか。水洗化人口と、将来推計人口と誤差がある。
副 会 長	計算が合わない。この表の95%はどのように出したのかわからない。5%にならないので、どのようにして95%を出したのか。資料3の数値が違うのか。
会 長	この値はあっている。4051と804を足して、この値が5%となっている。それが伝わっていない。単独浄化槽の人は生活排水処理率以外の人である。一番下の表現であ

発 言 者	内 容
	るが、 $100\% - (\text{単独処理浄化人口} + \text{水洗化人口}) \div \text{全人口}$ となる。表現は正しいが、わかりにくい。他にいかがか。
委 員	5ページの家庭系ごみがあるが、減少になっているが、増加ではないか。10ページの一番上の数値で、6037になると思う。11ページの上の注意書きのところは、上の段の「ごみ」は何を表しているのか。
事 務 局	グラフの下の※印が燃えないごみだけについているので、少しおかしくなっています。
会 長	文章もおかしくなっている。「ごみ量」だと思う。
委 員	ごみ量だと粗大ごみや資源ごみも入るのではないか。
事 務 局	資料3-1から持ってきてしまっているので確認します。表現の方法を考えます。
委 員	12ページの上の表も、家庭系ごみ量があり、17ページにも出てくる。12ページでは、燃えるごみと粗大ごみが入っているということが読み取れない。5ページにも出てくるので、最初に入れてもらうとわかりやすい。
事 務 局	修正します。
委 員	14ページの課題の整理で、1人1日家庭系ごみ量は、燃えるごみと粗大ごみを足した量だと思うが、11ページのごみの実績と推計を見ると、減少傾向にあるが、燃えるごみと粗大ごみだけを見ると若干増えているので、減少傾向とっていいのか。資源ごみを加えると増えてはいる。
事 務 局	ご指摘の通りだと思う。
委 員	15ページ、尾三衛生のところの、資源化の2行目で、組合では焼却後は鉄ごみの資源化であり、燃えないごみなどは、破碎処理後のものになるので、ここをこのように書くか。焼却処理の後に鉄・アルミだけである。
事 務 局	破碎処理後も書きます。
会 長	3ページの下イメージ図があるが、先回も使ったものであるが、一番下に一般処理廃棄物計画がある。2つに分かれている。右の実施計画は、基本計画にぶら下がっているのではないか。わかれるものなのか。資料5-2の右のページ、基本方針2の中、要は燃やして処理する量を削減したいということだが、それが無い。資源回収を進めて行くが、本音は焼却する量を減らしたい。それを書いた方がいいのではないか。焼却処理を削減することが大事なので、手段が目的化している。何しろ減らしたいということを書いた方がいいのではないか。リサイクルをすることが大事ではなく、減らすことだと思う。見直し後の目標2①、②があるが、目標2には2つあるほうがいいのではないか。目標5は重点施策が書いていない。何をすることがないので、乱暴すぎると思う。下水道につなげることと、単独浄化槽を合併浄化槽に変えること。下水道を作ってもつなげてもらわないといけない。それから単独浄化槽を合併浄化槽にする。何も無いのはいかがなものかと思う。
副 会 長	1つは、2ページの図であるが、実施の背景を見ながら、1ページのところの文章の内容、SDGsが背景、法律が変わったことが、2ページの図に反映されているほうがいいのではないか。20、21ページに反映をしてほしいのですが、20ページの目標3の話であるが、その上に令和2年度の実績値がこうしたい。同じように、リサイク

発 言 者	内 容
	<p>ル可能品目混入率の平均値があった上で、目標値、理想値があるという書き方にした方がいいのではと思う。その上で 23.3%が何か分からないので、足し算したものをつけてほしい。21 ページの事業系ごみを新設するが、何からというのがわからない。221 トンの削減とあるが、実績値がどれだけで、これから 221 トン減らすことを言いたい。現状があり、これだけ減らしたいというのはいらないのか。下に算出方法が書いてあるし、ここから減らすという表記の方がいいのではないか。どの数値を使うのかもあるが、5-2も反映をしてもらいたい。</p>
委 員	<p>今、SDG s は、循環型社会の形成となっているが、細かいところを見ると、SDG s に関係することがある。ちょっと市民がワクワク感をもってできるものがこれにほしい。SDG s という言葉はわかっているが、自分は何をしたら、社会に貢献ができるのか、わかりやすく、親しめるように、資料の中に、4つの絵を入れてもらっているの、このどこかに絵を載せてもらえると、削減することによって、このことに貢献できるというものをに入れてもらえると、ワクワク感が出てくるのではないか。</p>
事 務 局	<p>載せるようにしていきます。一番大事なところだと思います。</p>
副 会 長	<p>ここには陸は関係ないのか。温暖化対策には関係ないのか。エネルギー供給というところで、全く関係ないのか。つけてもらうことは大事だが、なんで大事なかがわかることが大切だと思う。</p>
事 務 局	<p>重点的に書かないといけないと思います。</p>
会 長	<p>2 ページのイメージ図がある。この中の上から 2 番目の左側は何か。多少の環境負荷はやむを得ないということを示しているのか。今どきこれはふさわしくないのではないか。いらないのではないか。</p>
事 務 局	<p>検討します。違う表現もあると思います。</p>
会 長	<p>ここにSDG s の言葉が入ってくるのであればいいと思う。</p>
副 会 長	<p>「持続可能な発展の確保」だと思う。</p>
事 務 局	<p>持続はしていかないといけないが、昔に戻ってはいけないと考えます。</p>
副 会 長	<p>持続可能な発展、開発でもいいと思うが、発展がいいと思う。</p>
会 長	<p>検討する。</p>
委 員	<p>これを読む人の対象は、市民だと思う。そうなった時に、ほとんどの市民は膨大な資料となるので、読み飛ばすと思う。なので、1枚版があると思う。その中でも、結果が最初に来たほうが見やすいと思う。5、4、3、2、1の順番で見せてくれた方がわかりやすいと思う。何をすればいいかを見せてもらい、ごみを減らす、それはなぜかという、このバックボーンがある。全部読みたくない人は最初のところだけ読んでもらえばいい。とにかく、ごみを減らすという方が読みやすいと思う。ずっと読んでいて、結局何がしたいのかが最後に出てくるよりは、最初にこれしてください。5番の目標のところ、重点施策、環境課がやること書いてあるので、事業所がやってほしいこと、一般の人にやってほしいことが書いてあれば、これをやればいいというのがわかりやすいのではと思う。</p>
副 会 長	<p>素晴らしい意見だと思う。人間が見たときに、何が刷り込まれるのか大事だと思う。検討してほしい。5が一番大きく、4と5は一緒にしてもいいのではないかと</p>

発 言 者	内 容
	う。1、2、3は裏付けのコメントでいいと思う。
事 務 局	構成を考えます。
会 長	せめて右と左を入れ替えてもいいと思う。
事 務 局	検討します。どの部分を見てもらいたいのかを考えます。
委 員	字が見づらい、間違っているところがあるので、修正してほしい。
委 員	1人あたりのごみの諸経費について、もらってみてみると、こんなにお金がかかっているだけでなく、これだけ市民に返ってくるということがあるといいのでは。これだけ自分たちが頑張っていると、税金がこれだけやすくなるというように、数値だとわかりやすいのではないか。
副 会 長	1トン当たりの処理費の数値はでるのか。
事 務 局	ごみの量からです。
副 会 長	なかなか難しいところもある。1トン減らせばいいのかということではないが。
事 務 局	イメージするときにはわかりやすいほうがいいということです。
副 会 長	ここに1人当たりではなく、1トン当たりいくら金額がかかっているかが文章に入っていると、何グラム減らせば、全体で何トン減らせばいいのかがわかるのではということ。なかなか難しいと思うが。
事 務 局	アンケート調査の中に、金額をいれた時に考えたところもあるので、一番いい表現を考えたいと思います。
副 会 長	表ではなく、文章で表現できればいいと思う。
委 員	あらましの目標1の令和8年のところで、数値が違うのではないか。
事 務 局	改めて確認します。
会 長	もし、他に気づいた点があれば、事務局に出してほしい。時間も限られているので、これは、承認はとったほうがいいのか。
事 務 局	はい。目標項目、数値についてはお願いします。
会 長	資料5-2の右のページの承認をとる。皆さんいかがか。基本方針、目標、数値に関して、承認をいただけますか。全員の承認をいただけたということで、承認する。ありがとうございます。
事 務 局	— パブリックコメント資料（案）について
会 長	パブリックコメントの資料について、いろいろ修正があるが、このような形で資料を作成していくということでもいいか。次の策定委員会で内容を確定ということか。
事 務 局	修正をして、次の委員会で承認をいただく考えです。
会 長	計画を進めたいということではなく、市民と一緒に進めたい、お願いしたいというトーンで表現をしてもらいたい。それでは、今日の議題が終わりましたので、最後に何かあるか。
事 務 局	(次回の会議について)
事 務 局	(事務局資料6について説明)
会 長	本日の策定委員会を終了する。